

答は、「握手」でした

2022/02/10



先日2月7日（月）の朝日新聞の朝刊に、杉田敏さんの新著『英語の新常識』が本日発売という広告が出ました。早速 Amazon に発注してもう二日後の9日（水）には手元に届きました。早いものです。G A F A 独占に対する非難はもっともですがこの便利さは捨てがたいです。でも、読んでみてがっかりしました。

杉田敏さんはNHKの語学の看板番組「実践ビジネス英語」を32年半にわたって担当してきた大ベテランです。引退するに当たって、放送の苦労話や裏話や言いたかったが言えなかった口惜しい話を聞くことが出来ると思ったのですが、残念、「新語の解説」と「網羅」に終始していました。目的が、新しい「英語の常識」の総覧ですから、これはこれでまとまって役に立ちます。

特に、二箇所だけ、「アメリカでは言語に多少なりとも関心のある親は、"nice" という語を乱用しないように教えるそうです」(24 頁)と「批判的人種理論」(Critical Race Theory) (47 頁)については興味をひきました。 "nice" の使用禁止は、私がいつもいっている日本語の「面白い」の使用禁止と同じだからです。「ナイス」(や「面白い」)を「多用すると、語彙が少ない、すなわち知的レベルが低いとみられてしまうからです」。

また、「タブー語の変遷」の項目で「批判的人種理論」(Critical Race Theory) に言及しているのはさすがです。これも朝日新聞の別刷りで届けられる『Globe』(February 2022 2/6 No,250)で「反差別主義者」であるイブラム・X・ケンディ教授の記事を読んだばかりだったので気になりました。

今回新しく得たものは、この二つだけでしたが、この二つで、本代の 880 円の元はとれました。

ああ、もう一つ、クイズも加えれば三つになります。

「イヌは3本足で、男は立って、女は座ってするものなあに？」(165 頁)の答は、みなさまが想像するのと違って、「handshake」(握手)でした。(笑い)

都築正道